1 はじめに (§10.1)

発話行為 (speech act)[*1] 話し手が話すことにより遂行する行為
例：感謝、挨拶、招待、依頼、注文

直接発話行為 (direct speech act) 発話の字義通りの意味により遂行される発話行為

間接発話行為 (indirect speech act) 会話の含意により遂行される発話行為

(1) 間接発話行為に関する 2 つの重要な問い

a. 聞き手は間接発話行為をどのように認識するのか？
＝発話の字義通りの意味が話し手の意図する発話行為ではないことはどのようにして分かるのか？

b. 聞き手は意図された発話行為をどのようにして特定するのか？

(2) 発話行為理論における 2 人の重要人物（ともに、哲学者）

a. **ジョン・L・オースティン** (1911–1960)
行為遂行 (performative) という発話行為を提唱し、その理論をすべての発話行為に適用。

b. **ジョン・R・サール** (1932–)[*2]
間接発話行為は会話の含意の特殊タイプであるとし、(1) の問いに答える。

2 行為遂行発話 (§10.2)

(3) これまでの（平叙）文の意味の定義 (Dowty et al. 1981:4)
「（平叙）文の意味を知っているということは、その文が真であるためには世界がどのようでなければならないかを知っているということである。」

- 平叙文の中には、真理値を与えられないようなものがある。
- これらの文では、話し手は、世界のあり方について述べるのではなく、世界を変えようとしている。

(4) オースティンの例 (Austin 1961)

a. ［結婚式で、新郎が新婦を妻とすることを］
誓います

b. この船をクイーン・エリザベス号と名付けます。

c. 明日雨が降る方に 6 ペンス賭けよう。

(5) a. 被告人を懲役 10 年に処する。

[*1] 「言語行為」とも訳される。

[*2] 長年にわたるセクハラが発覚し、2019 年 6 月にカリフォルニア大学バークレー校を追放された。

b. では、これから今年度初のランチョンを始めます。
c. 提出が遅れましたこと、心より深くお詫び申し上げます。

- オースティンは、これらを**行為遂行** (performative) という新たな発話行為として認識する必要性を説いた。

(6) オースティンの 3 種類の発話行為の区別
a. **発語行為** (locutionary act)：発話すること自体
b. **発語内行為** (illocutionary act)：発語行為により話し手が遂行しようとする行為。命令や質問などの**発語内効力** (illocutionary force) を持つ。
c. **発語媒介行為** (perlocutionary act)：発話の結果として行われる行為

問 (5) の文の使用に伴う、3 種類の発話行為を考えよう。

- ほとんどの発話行為は、**遂行動詞** (performative verb) などの言語的特徴を伴う、**明示的行為遂行文**（explicit performative）によるパラフレーズが可能。

(7) a. 雨が降っていますか？（質問）
＝私はここに雨が降っているかどうかをあなたに尋ねる。
b. 今日は火曜日だ。（言明）
＝私はここに今日が火曜日であるとあなたに伝える。
c. 起きろ！（命令）
＝私はここに起きるようにあなたに命令する。

- 従って、すべての発話が実質、行為遂行発話であると分析できる。

(8) 発話＝命題内容＋発語内効力

- すべての発話には、**適切性条件** (Felicity Condition) がある。

(9) a. ?? その猫はマットの上にいますが、私はそうは思いません。
—論理的矛盾でなく、言明としての適切性条件を満たさない。偽であると信じている／知っていることを述べるべきではない（cf. グライスの質の格率）。
b. ［健に息子がいないと分かっていて］
健の息子たちはみんなイケメンです。
—前提の失敗（presupposition failure）は、適切性条件を満たしていないため。つまり、前提は純粋に意味論的現象ではなく、語用論的側面も持ち合わせる。

3 間接発話行為 (§13.3)

間接発話行為 (indirect speech act) ある発話行為（一次行為 (primary act)）が、意図的に別の行為（字義通りの行為 (literal act)）により遂行される (Searle 1975)

(10) ナイジェリア人の大学教授 Ozidi Bariki と友人とのやり取り (Bariki 2008)
「あなたの左手素敵ですね。」（友人は左手に紅茶を持っていた。）友人は、私がそう言うと、カップを右手に持ち替えた。そのため、今度は「あなたの右手素敵ですね」と言うことになった。友人はにこっとして、私の望みを察しとり、妹に「友人が紅茶を欲しがっている」と伝えた。……少女はその単なる言明の文脈が指示を意味しているものと正しく解釈した。つまり、兄（私の友人）は彼女に紅茶を用意するように命じていたのだ。

(11) a. 「友人が紅茶を欲しがっている」
  (i) 字義通りの行為：言明
  (ii) 一次行為：命令
 b. 「あなたの左手素敵ですね」
  (i) 字義通りの行為：言明
  (ii) 一次行為：依頼
   —聞き手は意図をさっと理解できなかった
   → 意図された発語内効力が伝わるには、文脈だけでは不十分。ある種の原理や規約が存在。

- サールはオースティンの適切性条件を 4 つにまとめた。

(12) サールの適切性条件
 a. **事前条件** (preparatory condition)
  発話行為が適切であるために真でなければならない、話し手、聞き手、状況についての背景事情・知識
 b. **誠実性条件** (sincerity condition)
  話し手、聞き手に必要な心理状態
 c. **命題内容** (propositional content)
  根本にある命題が描写する状況や出来事
 d. **本質条件** (essential condition)
  発話行為の本質；その行為が何だとみなせるか

- 一般に、話し手は、適切性条件のいずれかについて述べたり、尋ねたりすることによって、間接発話行為を遂行する。

表 1　約束と要求の適切性条件（Searle 1969, 1975 を改編。 S = 話し手, H = 聞き手, A = 行為）

	約束	要求
事前条件	(i) S が A を遂行できる (ii) H が S に A を遂行して欲しがっており、S は H が S に A を遂行して欲しがっていると信じている (iii) S が A を遂行することが自明でない	H が A を遂行できる
誠実性条件	S に A を遂行する意志がある	S が H に A を遂行して欲しがっている
命題内容	S の将来の行為	H の将来の行為
本質条件	S が A をすることを引き受けたとみなせる	S が H に A をさせようと試みたとみなせる

問　次の各文により依頼の間接発話行為が可能である。それはどのようにしてか考えよう。

(13)　a.　お茶はありますか？
　　b.　お茶がありますね。
　　c.　お茶をいただきたいのですが。
　　d.　お茶をいただけると嬉しいです。
　　e.　お茶を下さいますか？
　　f.　お茶をくれる？

(1)　間接発話行為に関する 2 つの重要な問い

a.　聞き手は間接発話行為をどのように認識するのか？
＝発話の字義通りの意味が話し手の意図する発話行為ではないことはどのようにして分かるのか？

b.　聞き手は意図された発話行為をどのようにして特定するのか？

- 間接発話行為が会話の含意の一種であり、これらの問いに対する答えは協調性の原理に基づく。

(14)　［エレベーターが混んでいる時、すでにエレベーターの中にいる友達に］
もっと奥に行ける？

(15) 聞き手が (14) の間接発話行為を認識する方法

a. 聞き手は話し手が協調性の原理に従うと信じている

b. 字義通りの行為、すなわち、能力に関する質問であるとすると、話し手が協調的でないことになる（cf. 関係／関連性の格率）

c. 意図される一次行為は、質問ではない

(16) 聞き手が (14) の意図された発話行為を特定する方法

a. 話し手の質問は、意図される一次行為の適切性条件のいずれかについて尋ねているはず

b. 聞き手がもっと奥に行くことができるかどうかは、聞き手にもっと奥に行ってもらうように依頼するための事前条件

c. よって、意図された一次行為は聞き手にもっと奥に行ってもらうようにという依頼である

- 間接発話行為には、字義通りの行為と一次行為のどちらも関与する。
- 字義通りの行為を遂行することを通じて、一次行為が遂行される。

(17) 次の武蔵境行きの電車、何時か分かる？

A1: 6 時 16 分だよ。（一次行為の依頼に応じる）

A2: ごめん、分かんない。（字義通り行為の質問に応じる）

A3: うん。6 時 16 分だよ。（字義通り行為の質問に応じた後、一次行為の依頼に応じる）

- 間接発話行為は会話の含意の一種とみなせるが、違いもある。
  - 分離可能でない。同義の別表現では同じ間接発話行為が遂行できないことがある。
    例：もっと奥に行く能力がありますか？
  - 部分的に規約的である。

4 異なる言語における間接発話行為 (§10.4)

- 意図された発語内効力が、翻訳でも保持されることもあれば、翻訳では失われることもある。
- 保持されるのは、間接発話行為が計算可能であるため。
- 失われるのは、間接発話行為が部分的に規約的であるため。

問 Wierzbicka (1985:175) によれば、ポーランド人の英語学習者は、would you…や why don't you…のような文が曖昧になり得ることを、bank が多義的であるのと同じやり方で学ばなければならないという。

- 曖昧というのは、どのようにか？
- 日本人の英語学習者の場合はどうか？
- 自分の専攻語で同様の表現がないか探してみよう。

参考文献

Austin, J. L. 1961. *Performative Utterances*. Oxford: Oxford University Press. 2nd edition, 1970.

Bariki, Ozidi. 2008. On the relationship between translation and pragmatics. *International Journal of Translation* 20:67–75.

Dowty, David, Robert Wall, and Stanley Peters. 1981. *Introduction to Montague Semantics*. Dordrecht: Reidel. （井口省吾他（訳）1987.『モンタギュー意味論入門』三修社）.

Searle, John. 1969. *Speech Acts: An Essay in the Philosophy of Language*. Cambridge: Cambridge University Press. （坂本百大、土屋俊（訳）1986.『言語行為ー言語哲学への試論』勁草書房）.

Searle, John. 1975. Indirect speech acts. In *Speech Acts*, ed. Peter Cole and Jerry L. Morgan, number 3 in Syntax and Semantics, 59–82. New York: Academic Press.

Wierzbicka, Anna. 1985. Different languages, different cultures, different speech acts: English vs. Polish. *Journal of Pragmatics* 9:145–178.